

#オオイタレキシ旅 2025

大分市内にあるとおきの文化財の魅力をお届けします!

— 第11弾 —
千代丸古墳

市内で唯一の装飾古墳 千代丸古墳

千代丸古墳は、賀来川の河岸段丘にある横穴式石室古墳です。現在は石室を覆う程度の大きさですが、およそ7世紀初めの築造時は、全長約25mの円墳であったと考えられます。その規模や構造から大分平野を代表する首長が埋葬されていたようです。

石室内に施された線刻(壁面に刻まれた彫刻)が最大の特徴で、市内では唯一の装飾古墳として、昭和9年に国の史跡に指定されました。

線刻は、玄室(死者を埋葬する部屋)奥の棚状の石の前面にあります。竪穴住居の屋根のような三角形の連なりや、人物、動物らしきものが見られます。さらに玄室内部全面は赤色顔料が塗られており、今も所々に残る鮮やかな赤が当時の華やかな姿をしをのびさせます。

石室には入ることができませんが、玄室に続く部分や巨石を組み合わせた入口部分を見学することができます。



Point

歴史資料館に展示されている千代丸古墳の実物大模型で、石室内部を体感することができます。線刻や赤色顔料などが忠実に再現されています。

Access

所在地: 宮苑千代丸595-4
賀来駅から 車で約5分(駐車場なし)
徒歩約30分

Next Journey!

次回は
府内城跡
です。

☎ 文化財課 ☎578-7546

Q 市報クイズ

○に入る言葉は何かな?

SNSで知り合った人からお金の話がでたら

○○を疑いましょう!

ヒントは、この市報の中にあります。

スマホか
はがきで
応募!

正解者の中から抽選で、大分冠地どりのカレーと大分大葉のカレーセットを3人にプレゼント! ※当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。



応募方法 スマホ 右の二次元コードから応募してください。



はがき はがきに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、市報の感想を記入し、3月15日(出)消印有効)までに広聴広報課(〒870-8504 荷場町2-31 ☎537-5713)へ。

2月号「市報クイズ」の答え

燃やせるごみに最も多く混入されているリサイクル可能な資源物は、何でしょう?

「紙類」

表紙は、犬のウェイドくんとそのご家族。
撮影時も元気いっぱいの人懐こく、とても癒されました。

ウェイドくんは、おおいた動物愛護センターからお迎えした保護犬。

温かい家族に出会えて良かったです。



おおいた動物愛護センターでは、保護犬・保護猫の譲渡を行っています。

また、犬の飼い主さんは、犬の登録や狂犬病予防注射を忘れずに!

19ページで案内しています。

市民図書館からのお知らせ

県内の図書館の本を 近くの図書館(室)で借りられます

県立図書館と県内市町村立図書館には、その図書館で所蔵していない図書をお互いに貸し借りする図書館ネットワークがあります。これを利用して、絶版や品切れなどで手に入らなかった図書を取り寄せ、お近くの市民図書館や地区公民館図書室などで借りることができます。ぜひ、ご利用ください。



世界一クールな気候変動入門
〜情報を正しく判断するために〜
ジョン・クック・著
加納安彦・監訳
河出書房新社

地球温暖化による気候変動問題を訴える専門家VS「地球温暖化なんてありえない!」と反論する「困ったおじさん」たち。この議論の構図を分かりやすく描いたユニークな本です。思考力を鍛えながら楽しく科学を学びませんか。



「ゆめがきました」
三好愛・作
ミシマ社

寝ている人たちがみんなの所に「ゆめ」はやってきます。ねこと温泉にいく「ゆめ」や頭から友達が生える「ゆめ」。柔らかな色彩のイラストでほんわかやさしい気持ちにさせてくれます。おやすみ前の読み聞かせにおすすめです。



おすすめの新刊

555

人の生き方を考える

誰のため? 何のため?



孫と一緒に帰省した娘を車で迎えに行き、孫に服やおもちゃを買ってあげようと思ったわたしはショッピングセンターに向かいました。

ところが駐車場は満車で空くののを待っていると孫がぐずり始めたので。そんな中「大分あったか・は」と駐車場は空いており、利用証を持っていないわたしでしたが「こんな状況だからいいよな」と思い、そこに車を止めようとした。すると娘から「お父さん、ここは止めちゃダメ」と注意されたのです。

空いている所を探し、ようやく車を止め、孫のおむつを替えるために急いでトイレに行く人数の列ができていました。泣きやまない孫をあやしながら娘と相談し、他に行こうとしたときのことでした。列に並んでいた一人から「もしかして、おむつ交換じゃないですか? だったら、ここ空いていますよ。並んでいる人たちは使わないみたいですからどうぞ」とバリアフリートイレの

使用を勧められたのです。先に並んでいる人たちに申し訳ないと思いつつ、遠慮していると「そのためにあるんですから」と他の人からも勧められ、おむつを替えたのでした。

機嫌が直り、おもちゃ売り場へ向かうとき、娘は「みんな親切でありたいね」とつぶやき、うなずくわたしに「この子と一緒に安心して外出できるのは、あのトイレがあって、その意味を理解してくれている人たちがいるからだね。あそこにある手すりや外国語表記も必要としている人がいるのよ」と続け、視線を移したのです。娘の話の聞き、改めて周りをよく見ると、子どもや高齢者、障がい者、外国人などさまざまな人たちが買い物や食事を楽しんでいることに気付いたわたしは「停めちゃダメ」と娘が言った理由が分かったのです。帰る際「大分あったか・は」と駐車場には利用証を掲げた車が停まっております、まだ空きがあるのを見てほっとしました。

誰もが幸せに生きるために、さまざまな設備や制度があるのです。ちよつと立ち止まって、それが「誰のため」「何のため」にあるのかを考えてみませんか?

大分あったか・は1と
駐車場利用証制度

